

(1) 第2次二戸市総合計画における平成30年度のおもな成果と 平成31年度の主要事業について

★平成30年度のおもな成果と今後の課題

(1) しごと・産業・交流 ～地域特性を活かし豊かで活力に満ちた産業のまちづくり

- ・浄法寺漆の安定供給と、さらなる振興へ、関係機関と市が連携協定を締結（写真上）。
- ・地域おこし協力隊を新たに4名任命。漆掻きや木地づくり、漆の苗の育成など研修中。一貫した生産体制の強化に期待。
- ・管内市町村と連携する「カシオペアブランド発掘・発信事業」では、若手事業者を中心に、東京都でPRイベントを開催。地域の魅力を広く発信（写真下）。
- ・市と民間企業が一体となり「にのへ型テロワール」の推進を図るため、地域経済牽引企業と地方創生に関する連携協定を締結。



【今後の課題】

- ・「二戸らしい」地域資源のみがき上げと、より有効的な発信
- ・見せる（魅せる）産業体験型観光への発展、振興
- ・地域産業全体への波及と底上げ、担い手育成

★平成30年度のおもな成果と今後の課題

(2) 子ども・若者・女性 ～若者・女性がいきいき輝き子どもの声があふれるまちづくり

- ・若者の出会いの場を創出する事業などを支援する「若者元気づくり交付金」を2団体に交付。ナニャトヤラに親しむイベント（写真右）や、オリンピックが講師のカーリング講習会（写真左）を開催した。どちらのイベントにも、若者のみならず多くの人々が来場し、にぎわいを見せた。

- ・病児保育施設は昨年6月から利用開始。利用登録者は189人（市民171人、管内15人、県内2人、県外1人）。利用者はのべ246人（いずれもH31.3.22現在）。

- ・中央児童クラブの移転施設に伴い、市内すべての児童クラブにおいて、全学年の受け入れが可能となった。



【今後の課題】

- ・安心して子育てができるよう、妊娠、出産期における課題や悩みの早期発見、対応
- ・子どもたちや若者が、地域の誇りと将来への希望を持って暮らせるまちづくり

★平成30年度のおもな成果と今後の課題

(3) 暮らし・安心・健康 ～健康で安心できる暮らしで笑顔がいっぱいのまちづくり

・九戸城跡について理解を深めるため、奈良大学の千田嘉博教授による講演会を開催（写真上）。市内外から多くの人々が来場した。

・明治150年を記念し、達増岩手県知事による特別講演会を開催（写真下）。知事は、二戸や岩手の先人が明治維新に及ぼした影響などについて見解を披露し、市内の高校生など多くの来場者が聞き入った。

・「二戸市自殺対策計画」（策定中）の推進に伴い、市民と接する機会の多い市職員全員を対象に「ゲートキーパー養成講座」を開催した。



【今後の課題】

- ・快適で安全なまちづくりに向け、市民の心身の健康保持と、暮らしに密着した生活基盤、生活環境の充実を図る
- ・地域の歴史や文化を理解し、継承する人づくり

★平成30年度のおもな成果と今後の課題

(4) 地域力・行政力・共創 ～満足度・幸福度が高い共に創るまちづくり

・公共と民間がそれぞれの役割を担いながら、地域経済の好循環を生み出し、持続可能な地域をつくることを目的に、二戸市公民連携基本計画を策定。また、企業や金融機関、市が出資した市内初のまちづくり会社「(株)カダルミライ」が設立された（写真）。



・坂田橋や斗米橋などの橋梁補修、馬場大谷地線の法面補修などを行い、より安全で安心して利用できる道路環境の整備を進めた。

・八戸、久慈、二戸圏域の連絡協議会で、漆振興専門部会を設置。11月には漆の苗木の冬越し作業研修を行うなど、自治体間での情報共有が図られた。

【今後の課題】

- ・「公民連携」による地域課題の解決に向けた市民参加の推進
- ・暮らしやすいまちづくりを支える社会基盤の計画的な整備
- ・共通の施策を持つ自治体と連携し、広域的視点での共有、解決

★平成31年度の主要事業

(1)しごと・産業・交流

◎観光地づくり推進事業

H31当初予算額 38,827千円

「にのへ型テロワール」の確立、推進へ

地域の風土や歴史、文化などの地域資源を“ストーリー”として発信するとともに、生産者との対話や体験などを通じ、二戸でしか実現できない「産業体験型観光」を目指します。

平成31年度は、コーディネーターの養成や、観光メニューの造成などを行います。

【うるし】

- ・漆掻き職人/木地師 育成事業
- ・原木確保対策事業
- ・「うるわしの森」整備事業

【農業・林業】

- ・葉たばこ品質向上支援事業費補助金
- ・県営農地整備事業負担金
(川又、山内、福田地区 ほか)
- ・産地パワーアップ事業費補助金

【地域企業】

- ・産業力強化促進事業費補助金

【雇用】

- ・ふるさと就職支援事業

【ブランド・流通】

- ・にのへブランド戦略推進事業
(いわてカシオペアブランド発掘・発信事業を含む)

★平成31年度の主要事業

(2)子ども・若者・女性

◎産前産後母子支援事業

H31当初予算額 9,800千円

子育てにおける“不安”の軽減へ 関係機関と連携し、切れ目なき支援を

「産後うつ」の予防や、新生児への虐待予防を図るため、すべての産婦を対象に、産後2週間の産婦健診費用を助成します。

また、新生児の聴覚障害の早期発見、治療につなげるため、新生児聴覚検査の助成も行い、子育てに対する不安や悩みの軽減に努めます。

【子育て】

- ・放課後児童対策事業
- ・病児等保育事業

【若者の活躍】

- ・若者元気づくり交付金

【移住・定住】

- ・移住・定住推進事業

【学校教育】

- ・スクールバス運行事業
- ・子ども新聞活用事業
- ・異文化交流推進事業
- ・学力向上推進事業
- ・学校給食センター食器更新事業
- ・小中学校文化、体育大会出場費補助金

★平成31年度の主要事業

(3)暮らし・安心・健康

◎防災行政無線等整備事業

H31当初予算額 390,000千円

迅速かつ確実な情報伝達手段を2カ年で整備

有事の際、迅速で確実な情報が伝達されるよう、防災無線を2カ年で整備します。

これまでの、屋外スピーカーや戸別受信機（一部）による受信から、屋外スピーカーと防災ラジオ、スマートフォンなど、多様な手段で確実な受信を目指します。

【公共交通】

- ・コミュニティバス運行事業

【生活環境】

- ・ごみ減量化実証実験事業
- ・二戸地区クリーンセンター整備負担金

【地域】

- ・町内会等地域づくり事業補助金

【高齢者】

- ・地域包括支援推進事業

【健康】

- ・ロコモティブシンドローム予防事業
- ・脳卒中等予防改善事業

【歴史・伝統】

- ・史跡九戸城跡環境整備事業
- ・九戸城情報発信、活用事業

【生涯学習】

- ・総合スポーツセンタートレーニング器具更新事業

★平成31年度の主要事業

(4)地域力・行政力・共創

◎公民連携まち再生事業

H31当初予算額 217,600千円

市民と行政が挑む新しいまちづくり 金田一温泉周辺の整備に着手

国の「パークPFI」制度を活用し、金田一近隣公園及び3月をもって営業を終了する、金田一温泉センターの整備に着手します。

また、地域資源を生かした産業振興や交流拡大などについて、住民と検討を進めるとともに、地域全体への波及も目指します。

【道路】

- ・道路新設改良舗装事業

【都市計画】

- ・新幹線二戸駅周辺地区土地区画整理事業
- ・都市計画マスタープラン、
立地適正化計画策定事業

【上下水道】

- ・浄水施設改良事業
- ・公共下水道全体計画変更事業

【行財政運営】

- ・コミュニティ情報発信事業

✿これらの重点事業を含め、来年度も各事業の着実な推進に努めてまいります。
委員の皆様のご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。